



見えない星 見える星

～1学期末一人ひとりの成長を振り返る～

校長 島野 歩

7月7日の七夕を前に、子どもたちの願いが書かれた笹飾りが中央階段をにぎわせています。

「ノーベル賞をとります!」: すばらしい! 期待大です。

「ロボットを創る人になりたいです。」: 目標をもって

進める! 素敵です! 「大きいプリンを食べてみたい」:

あまりにも素敵で可愛くてにっこりしてしまいました。

子どもたち一人一人の夢が、天に届きますように。

七夕飾りの光景: 一生懸命に書かれた素敵な短冊に思わず足を止めて見入ってしまいます。



子どもたちの「なぜ?」「どうして?」は探究のはじまり! 「たからもの」です。



先日、3年生の男の子から聞かれたことがありました。

「先生、どうして星は夜にしか出ないの?」.....

うわあ! 大好きです。子どもたちの「なぜ?」

「どうして?」探究の始まりです。わくわくしながら、

こう答えました。「星は昼間も出ているのですよ。」

「えーっ、どういうこと? 不思議! どうして?」

「ぜひ調べてみてね。そうしたら、先生にまた教えて!」

後日、その子はしっかり調べてきてくれて、「青い空の

奥深くに沈んでいる星は、夜になると辺りが暗くなる

から見えるようになるんだね。ほく、わかつちゃった!」と嬉しそうな顔! 子どもとの会話は、「たからもの」です。

この男の子との会話から、ふと考えたことがありました。「人の世にも星と同じことが言えるなあ。」.....いつも存在しているのに、夜は見えるけれど、昼間は見えない星。見える星と見えない星。目立たないけれど頑張っている人の姿。いつも元気そうに見えるけれど実はとても悩んでいる身近な人。.....心の目でじっと見ると、今まで在ったのに、見えていなかったことが、見えてくる。そう思えてきました。

見上げた夜空の満天の星。一方では、数えきれないほどの星が、この昼間の空にも在ることに気づかされます。

1学期末 終業式まで残すところ後10日となりました。

目に見える子どもの力、目には見えないけれど成長している子どもの力を、しっかりと見取り、自信として還していけるよう、一日一日を大切にしていきます。

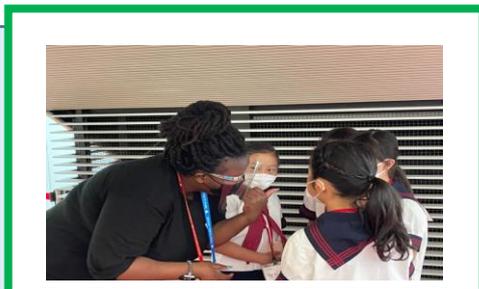
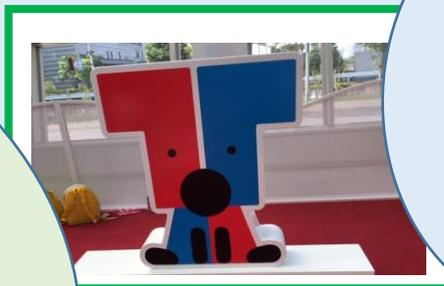
1学期 TOKYO GLOBAL GATEWAY

We enjoy speaking English!

6月8日(火)本年度第1回初めての
TOKYO GLOBAL GATEWAY へ
3年生~6年生が出かけてきました。
前年度に比べ、プログラムの内容も数も
充実し、こどもたちの声も積極的に！
とくに初めて参加3年生はとびきり！でした。
通じるとうれしい！通じないとくやしい！
コミュニケーションツールとしての「英語」が
ここから日常のモチベーションにつながることを
願っています。

一人一人与えられる細かなミッション。英語で
できるだけ詳しく状況や希望を伝えてミッションを
クリアしていきます。
とても「ドキドキ！」でも不思議と「わくわく」・・・
さまざまな生活の場面の設定で、「使える英語」
「話せる英語」を目指していきます。

イングリッシュス
ピーカーの
巧みな話術で
いつの間にか
笑顔に！



「AERA English」から取材いただいた本校の記事が
このたびも昨年度に引き続き3ページにわたり
掲載されましたのでここにお知らせいたします。(8月発売予定)

7月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
				1	2 みたまま祭り	3 休業日
4	5 個人面談 B時程	6 教員午後研修 3校時下校	7 個人面談	8 13:00～16:00	9	10 終業式
11	12 夏休み(～23日)	13	14	15	16	17
	4, 5, 6年夏季補習					
18	19	20	21	22 海の日	23 スポーツの日	24 休業日
25	26	27	28	29	30	31

7月の生活目標

重点目標 〈文教っ子八ヶ条 第4条 人のせいではなく、自分で責任がもてること。〉

◎ 言葉づかいに気をつけよう

◎ 登下校のルールとマナーを守ろう

- ・相手を思いやった言葉づかいをする・その場に応じた正しい言葉づかいをする。
- ・電車内で周囲に迷惑をかけない。
- ・ハンカチとちり紙を身に付け、手洗いをする。

◎ 言葉でけんかにならないためには 〈文責：教頭 田中 宏一〉



言葉だけで気持ちを伝えるって難しいですね。マスクが当たり前になり、表情が見えにくくなり最近特に思います。なので私は、どのようにしたら目で笑っているように見えるか、毎日歯磨きをしながら鏡に向かって練習しています。なんだか、はたから見ると、歯を磨きながら目はニコニコしている…奇妙な光景です。

ところで、みなさんは、お友達から、「今日は遊べない。」言われたら、どんなことを思いますか。『なにか用事かな。』『忙しいんだな』と思う人がいるでしょう。『誰かと約束していたのかな。』と思う人もいるでしょう。なかには、『なんか、避けられているのかな。』『嫌われているのかも』『怒っているかな』と思う人がいるかもしれません。言葉を、相手がどのようにとるかは、人それぞれなのです。

でも、怒ってもいないのに伝え方によって、相手に『怒っているのかな』と思われるのは、さけないですね。どのように言えばきちんと相手に伝わるのでしょうか。きちんと相手に気持ちが伝わるために3つのことを意識してみましょう。

1つ目、『相手を見て、表情をつけて話しましょう』

下を向きながら、無表情でお話されても、なかなか気持ちは伝わるものではありません。マスクをして話すことが当たり前になりました。【目は口ほどにものを言う】です。私は特にこれは気を付けています。

2つ目、『きちんと理由も、付け加えましょう』

「今日は用事があるから」とか「もう、違う約束があるから」ときちんと理由も話しましょう。できない約束をできると言ってしまうことは、それもけんかの原因になります。

3つ目、『相手を思いやった、言い方をしましょう』

相手は、どきどきしながら声をかけているかもしれません。ぶっきらぼうに答えることで、いらぬ誤解を生むこともあります。

「そんなつもりじゃなかったのに…」という、誤解から始まるけんかが起きないように、夏休みまでの10日間、相手を思いやった言葉づかいと、場に応じたあたたかい言葉づかいをして、楽しく過ごしましょう。

学校周辺への駐車・停車におきましてのお願い

送迎の際の、車の駐車・停車につきまして、ご協力いただき大変ありがとうございます。登校児童や近隣にお住まいの方に、いつもご配慮いただきありがとうございます。私も朝、交差点に立ってしましてドキッとすることが、本当に少なくなりました。近隣の方とも、お互いとても和やかに、朝の挨拶をさせていただいています。引き続きどうぞよろしく申し上げます。以下は、毎回の確認となりますが、来年までの工事も入っております。ご協力お願いいたします。

送迎の際、学校の周り、駅から坂道の途中、曲がり角から50m内（電信柱2本目までが目安です）での子どもの乗り降りは大変危険です。子どもの乗り降りは、位置を離れていただきますようお願いいたします。特に今年も工事が入っております。朝の登校の時間帯に工事車両が止まっています。その手前には止めないようにお願いします。

また、子どもの乗り降りにはできるだけスムーズにできるよう、降りる準備をし、速やかにお願いいたします。玄関前、交差点付近は大変危険です。停車もご遠慮ください。

